

蔵王山安善寺

『八正道を心において』



釈尊涅槃図 安善寺蔵

◆編集・発行人◆

近藤真弘

T940-0052

長岡市神田町1丁目4番10

TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋 潔・高橋利春

屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉

山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子

近藤久美子

印刷・株式会社印刷

泰忍 弘

釈尊「涅槃会」お釈

迦様が亡くなられた忌日に際して行われる法要のこと、お生まれになった「降誕会」お悟りをひらかれた「成道会」と共に三仏忌といい、曹洞宗ではそれぞれ法要を行います。安善寺ではひと月遅れの三月十五日に毎年涅槃会の法要と団子まきを行います。昨年はコロナウィルスの影響で団子まきが行わず法要のみを厳修し、お参りの方には涅槃団子はお渡ししてお持ち帰りいただきました。涅槃会では本堂に釈尊入滅の様子が描かれた涅槃図

を掛けます。写真は安善寺の涅槃図ですが、構図はどれも大体同じになります。涅槃図の構図には様々な意味や物語が含まれております。沙羅双樹の木が半分枯れているのは無常を表すという解釈や、摩耶夫人がお釈迦様のために天界から薬を投げたという故事が「投薬」という言葉の元になっている等、様々です。沙羅双樹の木が八本あるのも「八正道」を表しているといわれています。八正道とは「正見(正しい見解、正しい信仰)」「正思惟(正しい考え方、正しい決意意志)」「正語(正しい言語的行為)」「正業(正しい身体的行為)」「正命(正しい生活法)」「正精進(正しい努力・勇気)」「正念(正しい意識・注意)」「正定(正しい精神統一)」の八つで、この八つの道は別個なものではなく、相互に密接に関係しあい統合することによって、苦を滅し、涅槃の境地にいたることができます。いわゆる理想の境地に至る実践徳目であり、正しい生活態度のことをいいます。

昨年一年で生活環境を一変させ、いまだに収束しないコロナウィルスの猛威。目に見えない恐怖の中、感染拡大に伴い様々な差別が起つてしまいました。そんな中、曹洞宗宗務庁から一枚のポスターが出されました。そこには大きく「正見」の文字が書かれています。そしてその下には「コロナ禍にあつて、この苦境に立ち向かう人々に敬意を表します。他方で罹患者の方々や医療従事者とそのご家族などに対する誤解と偏見、差別事象や風評被害が引き起こされています。科学的根拠のない不正確な情報、迷信に振り回されることなく、冷静に生活を行っていくことが第一に求められています。私たちがとって今できる、大切なことはウィルスに留まらず不安と差別の感染予防なのです。」と一文が書かれていました。自己中心のゆがんだ見方や一方的な見方をせず、物事を正しく見るのが「正見」です。あらぬ不安や苦しみを生み出すのではなく、八つの正しさを心におき、収束を願いまししょう。

【特集①】

「まさかの海外生活、

アメリカ・ブラジル」

安善寺世話人 佐藤 博

今日は私が以前40年間勤めていた会社で、予想もしなかった12年の海外生活を送った経験の一部、特に楽しんだ話を中心に紹介します。
(内容とか数字は当時のこと)

1. アメリカ編

(1992年～1998年)

住んでいた所は、オハイオ州のクロンバスとシンシナティ(ケンタッキー州)の中間、トウモロコシ畑の大平原の中の人口約8千人の小さな田舎町のアパートです。

町は役場庁舎の西欧風の建物から商店街と住宅街が連なるきれいな町でした。商店の他にレストランやスーパー、モール(ショッピング)もあり、日本食品はほとんどありませんが、



ブラジルの町の日本祭り

日常生活品の買い物にはあまり不由はありませんでした。

私は最初3年間単身赴任のため、自宅での自由時間は多く、現地TVや日本語NHK、ドライブ、冬を除けば毎週のようにできたゴルフなども楽しみました。その後、妻と娘との3人での滞在が始まると生活は変わります。小6の娘は、平日朝迎えに来るスクールバスで現地校へ通い、土曜日は朝早く妻が作った弁当を持ち、車で1時間のクロンバスの日本人学校へ通いました。送るのは妻と私。

娘を送った後はクロンバスで日本食品の買い物、現地の探索やモールで時間を過ごして娘の終業を待つて帰宅します。当時食品輸入は1ヶ月以上掛かる船便が多く、賞味期限の切れた食品も普通に食べていました。日曜日や休みの日はリラクスのために近くの観光やモールへ行ったり、車で1時間半のシンシナティのしゃれた船上レストランの食事を楽しみました。シンシナティにはプロ野球レッズの本拠地球場があり、当時ドジャースに所属の野茂投手を目の前で見られたことも話のタネです。

会社は車で20分の隣村にあり、毎朝早く向かっていました。会社では当然ですが会話や書類は英語のため、言葉で苦労した想い出も多いです。会社での昼食は単身のときは朝注文をしておくハンバーガーかピザ。家族との滞在が始まると妻が作るお弁当でした。

ここで、アメリカ編のまとめ。良かったことは、アメリカ人と人間関係を築くことができ、自分の視野と考えが広がったことです。

2. ブラジル編

(2007年～2012年)

住んでいた所は、サンパウロから車で北へ1時間の人口5万人のイタリア人によって作られた町。教会を中心に商店街から住宅街が続く急な坂道の多い町で、私は塀に囲まれたアパートの4階に住んでいました。日本からブラジルへは経由地がアメリカ、ヨーロッパ、中東とあり、飛行時間は約24時間。

町には商店、スーパー、レストランもそろい、スーパーにはブラジルで作られた米、味噌、総菜など日本食品もありました。レストランではイタリアレ스토랑と、2～3軒の日本食レストランを多く利用していました。

また、町には日系人200家族のコミュニティがあり、毎年日本祭りの出店やカラオケ、運動会なども行われ、私たちも参加して楽しんでいました。

ブラジルは日系人が3世から5世の流れの中、190万人の人が住

んでいます。そのため日本にあるものはすべて、社会、文化、宗教、学校、商売、工場、製品など何でもあるように感じました。もちろん寺院もありました。

ブラジルでは妻と2人での滞在でした。言葉はポルトガル語。駐在前に2人とも習いましたが結果は？。現地人との意思疎通は私よりも妻の方が明らかに上でした。

アパートのある地域は安全のため、妻は1人で近くのスーパーや商店に買い物(甘い物も)に行き、アパートのおばさんや子供達と仲良くしていました。土・日はサンパウロの美術館や博物館回り、日本人街のリベラダージへ行くことも楽しみ。日本の食品を買い、本やDVD(コピーも多かった)、玩具など日本の物を見て日本を感じ、日本食や甘いものを食べて帰っていました。

会社はアパートから10分程の工場団地にあり、最初2年間、私以外は全員がブラジル人のため会話はポルトガル語か英語。ただ日系人も数人いたため日本語も通じました。

会社の食事は朝と昼の2食を会社の提供で食べることができたことが特徴でした。ブラジルの主食はパンだけでなく、お米のご飯もあります。ご飯は通常、黒豆と肉の煮込み汁をご飯にかけて具と一緒に食べるフェイジョア料理が一般的。この料理は家庭でもまたどんなレストランでも普通に食べられます。

また肉料理ではテーブルで直径20cm程の焼肉を切つて皿に乗せてくれるシェラスコがあり、お勧めです。不思議に思ったことは食事のとき、現地の人にはナイフを左手、フォークを右手に持って我々とは逆のことでした。

ブラジル編まとめとして良かったことは、ほとんど知らなかったブラジルの社会、人、文化、経済や、日系人の貢献の大きさを理解できたこと。そして、どの国でもいろいろな個性はあっても、最後は個人の人間性が大切と感じたことでした。

最後に、私の2ヶ国の海外生活はどちらも現地の良い環境に恵まれたため、表面的な順調な話のみになつてしまいましたが、少しでも海外への興味につながって頂けるとありがたいと思います。

そして、新型コロナの早い終結を祈つて終わりとします。



リオのコパカバーナ海岸

【特集②】

コロナ禍での医療の変化と現状

長岡中央総合病院小児科 太田 匡哉



2020年3月に世界保健機構

(WHO) が新型コロナウイルスの

パンデミック(世界的大流行)を宣

言してからもう1年になります。オ

リンピックイヤーとなるはずだっ

た2020年がこのような形で終

わるとは予想していませんでした。

今まで普通だった旅行や食事会、人

に会いに行くなどを個人の努力で

控えた1年間だったのではないで

しょうか。病院勤務の中で体感した

コロナ前後での変化や現状の医療

体制について書いてみたいと思

います。

・入院患者さんの付き添いや面会

の制限

現在多くの病院で患者さんの付

き添い者、面会者の制限をかけてい

ます。付き添い者においては家族内

で1〜2名に絞って多くの人数で

の交代を控えていただいています。

また新型コロナウイルスの流行か

ら面会禁止が続いています。患者さ

すが、なるべく色々な人が病棟内に

出入りすることを避けてコロナウ

イルスの持ち込みリスクを減らし

病棟患者さんの感染を予防するこ

とが目的です。また県外から来た人

にはたとえ夫婦でも新潟に着いて

から2週間経過するまでは面会も

できません。そのため里帰り分娩で

出産したお母さんは家族の立ち合

いもできないので一人で産んで退

院しています。

・入院患者さんの外出外泊の禁止

長期入院治療を行っている患者

さんは治療の合間に自宅へ帰った

り、治療予定が無いときに外出した

りしていましたが今は禁止されて

います。これも病院外での人との接

触を減らして病棟へのコロナウイ

ルスの持ち込みを抑えるためです。

・予定入院の先延ばし

コロナ患者さんを受け入れてい

る病院はコロナ患者さん専門の病

床を常に確保しております。そのた

め普段より使える病床数が少なく

なり待機手術などを予定していた

患者さんの病室が確保できず手術

が延期になっています。命にかかわ

る病気の治療でなくても患者さん

の予定が変更になって一般診療に

影響が出ています。

・患者さんの受診控え

患者さんが病院でのコロナ感染

を恐れて毎日飲んでいいる薬がな

くなって受診を控える受診控えが

起きています。毎日の管理薬を自己

中断することは持病の悪化にもつ

ながるため厚生労働省からコロナ

対策で定期的に内服している薬に

関しては電話再診での処方許可が

されています。電話で現在の症状を

話して処方箋をFAXで普段の薬

局に送ってもらい受け取ったり、電

話で処方方を予約して病院に薬を受

け取りに行くなど病院での滞在時

間を短くすることができます。薬が

なくなっても受診を控えている方

はかかりつけの病院・医院に電話で

連絡を取ってみてください。また感

染を恐れて通院を控えて様子を見

たため持病やコロナウイルス以外

の病気が重症化する患者さんも報

告されています。症状がある場合は

自己判断せずにマスクや手洗いな

ど感染予防に注意してかかりつけ

の医療機関を受診してください。

・いろいろな感染症が少なかった

のはウイルス干渉の影響?

今年度、私が行ったインフルエ

ンザ検査で陽性の患者さんは一人

もいませんでした。私は小児科医

として働いていますが2020年

は毎年季節性に増えるウイルス感

染症が激減しました。例年なら夏

に多い手足口病、冬のRSウイル

スやインフルエンザの患者さんを

診ていません。ここまでウイルス

感染の流行が減った要因は子ども

たちが軽い風邪症状でも幼稚園や

学校を休んでいること、手洗いう

がい、マスクなど一次感染予防を

徹底していることも影響している

と思います。コロナウイルスによ

とを防いで他のウイルスが減るこ

とです。それだけウイルスの世界

ではコロナウイルスが他のウイル

スを押しのけて牛耳っているの

でしょうか。

県内でも徐々に感染者数が増え

て今まで日常的に行っていた診療

ができなくなってきました。こ

れがどんどん進むと医療崩壊につ

ながるのだと実感する日々です。コ

ロナのワクチン接種が2月から開

始されましたが16歳以上が適応で

子どもたちは打てません。ワクチ

ンを打てない人がいてもその周り

の人がワクチンを打って病気にか

からなくなれば打っていない人を

守ることができます。それを集団

免疫といい多くの人にワクチン接

種を行うのは社会全体を守るため

です。現在長岡市はコロナ患者さ

んが多くは出ていませんが、条件

が重なれば誰でも感染する可能性

のある病気です。感染者さんの行

動を責めるのではなく自分も感染

【越後曹洞宗名刹巡り】

越後四箇道場 県下随一の大古刹

村上市

耕こう雲うん寺じ

〒九五八―〇八一 四 村上市門前



本堂

新潟県の北端三面川支流、門前川の川沿いで丘陵の中腹に佇む伽藍が越後一の大古刹、耕雲寺です。その歴史は古く、耕雲寺二世傑堂能勝和尚が応永元年（一三九四）に師である梅山聞本和尚を開山に請し創立され、六〇〇年以上もの歴史を誇ります。

耕雲寺は末寺が八〇カ寺、孫寺以下を合わせると八〇〇カ寺にも及び、その門葉の多さは県下随一です。江戸時代は一〇万石の大名と同じ格式をもち、代々村上藩主から一五〇石の寺領が寄進されていました。明治十九年に不慮の火災にあい、鐘楼（現在の山門）のみを残し焼失してしまいました。往時は仏殿、

開山堂、禅堂、衆寮、庫院、回廊等の七堂伽藍が立ち並び、常時一〇〇余名の修行僧が修行する大僧堂でありました。

見どころは往時を偲ぶ山門です。これは元禄十五年（一七〇二）鐘楼堂として建立されたものだが、明治の末

に移転改造し、現在の山門となりました。山門両脇の仁王像は焼失時に難を逃れたもので、市及び県の文化財として注目されています。

門前の「森呼吸の里 せせらぎ公園」も蛸の名所として有名であります。



山門

東堂和尚のひとりごと (第五回)

変わる・・・かわる・・・無常

「変わる」色々なものが変わる。身体・体力・趣味・好き嫌い・色々な事柄の見方・考え・環境・価値観等。又、文化・慣習・日本の、世界の有り様等々。人それぞれに違いはあると思うが、昔と現在ではいろいろのもの、事柄が変わった。

私の場合、食べ物一つとっても、子供の頃はお寺の法要後のお齋・精進料理の人参、大根、芋、麩等の煮つけの料理が嫌いでした。一切食べなかったが、いつの頃からか、好きな食べ物の一つとなる。若い時は、毎日でも食べたと思う肉食が、最近では一週間で一度くらいで良く



煮つけの料理

なった。魚は、毎日でも、以前生野菜は「ウサギでもないから何でこんなに食べなくては...」と思っていたのに好きになり、昆布の佃煮や塩昆布等々は、毎食でも飽きずに美味しく食している。趣味や興味も大きく変わり、テレビ番組も、昔はスポーツやクイズ番組等を多くみたが、最近では世界の動植物の紹介やシルクロードの紹介番組、人類の歴史、地球や宇宙の事、ニュース、時事問題番組を好んでみる。それに時代劇もよくみるようになった。良い悪いがはつきりしており、最後は善が勝つというお決まりものが多く、安心して見られる為か。それだけ現代社会が複雑化して、知らぬ間にストレスが溜まりやすくなっているせいだ。若い頃は、早く寝るのが惜しくて宵つ張り、寝れば朝まで熟睡、朝起きるのが辛かったが、最近では、夜は早くから眠くなり、夜中に目が覚め、其の後はなかなか

が寝付かず、浅い眠り、早起きが平気になるが、日中ウトウトすることも。

昔は不動の大地と言われた地球の表面は、十数枚の厚さが百キロほどの岩盤、プレートの上にあり、毎年数センチの早さでプレートは移動しているとのこと。『動く大地』だ。日本地図も世界地図も変わっている。天文学では、太陽系・私共の天の川銀河、宇宙も刻一刻と変化しているようだ。

お釈迦様は二千数百年前に「無常」...(ありとあらゆるものは移り変わって少しもとどまらぬ事)を教えられた。「諸行無常」...(万物は常に変化してやむことがない)なのだ。

自分に都合の良いことが何時までも続くと勘違いし、執着し、思い通りにならぬ悩んでしまう。色々なものが、事柄が変わって当たり前ののだ。変わる自分、環境を受け入れ、今日を、今を生きたいものだ。



安善寺よろず掲示板

「樹木葬墓『翠緑の小径』」の進捗状況のご報告

前号の特集でご案内しました樹木葬墓『翠緑の小径』の建設も大雪の中での作業でしたが順調に進んでおります。まだ仕上げ前ですが約五十メートルの塀も設置され、現在は樹木葬墓本体の製作作業に入っています。このまま順調に進めば五月一日には完成となります。工事の関係で駐車場が一時的に手狭になっており、お彼岸等ではご迷惑をおかけいたしますが何卒ご了承ください。

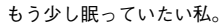


設置されたコンクリート塀

「ホームページ開設のご案内」

この度、安善寺ではお寺のホームページを開設することとなりました。お寺の案内や年間行事等を分かりやすくご覧いただけるよう現在鋭意制作中でございます。お寺の季刊誌も創刊号から全て閲覧できるようにする予定です。完成は四月頃を予定しております。完成の際にはご案内をいたしますので是非多くの方にご覧いただければと思います。





またまた
ボブのひとり言

春になったら、がんばるにゃん

ボブのひとり言

私の代わりに注意をされる久美さんがかわいそうだ。バスケットボールに夢中の真人君とサッカーを頑張っている悠真君はダイエットとは無縁のようだ。

そんな二人は最近お友達の家で見た幽霊のお話のせいでもともと怖がりだったのに拍車がかかり、お風呂へ行くのもトイレへ行くのも怖がるようになりました。私があゝの世へ行ったら四十九日の間何度もおどかしてやろうかと今から画策中。

二人が赤ちゃんの頃からずっと一緒にいて、今では私のごはんのお世話してくれるようになった二人。いつか来る別れの日はずらくなりそうだ。

そこには先代猫のペコ、シエパードのさくらにノンちゃん、そしてたくさんの友が眠っていてあちらに行つてもさみしくないようだ。

もうすぐ春彼岸。優しくかつ

たみんなを思い出します。この世で仲が悪いモモちゃんともあちらに行けば仲良くなれそうな気がします。

とはいえまだまだ先の話。
元気でいるために少しの運動
と少しのダイエット、そして
家族からの愛情という栄養剤
いただき日々過ごしていきたい!!

羽毛布団にぬくぬくとうも
れながらそう決心する私であ
る。がんばるにゃん。

皆様からの原稿をお待ちしております。

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。

〈原稿送付先 FAX 0258-32-2870〉

編集 雑感

編集 雑感 毎日毎日コロナウィ
ルスの話題で心身とも
にお疲れなのではない
でしょうか？感染者の
数に一喜一憂する日
々。なんてつまらない
ですよ。しかしワクチ
ンの接種をして、気温
が暖かくなり、感染
者が減少すれば、世
の中は良い方向に向
かうのではないでし
ょうか？樂觀的かも
しれませんが、何か
明るい話題でもない
と辛いですよ。7月
開催予定の東京オリ
ンピックもどうなる
のか定かではありません
せんが、私個人の意
見としては感染対策
を十分施した上で無
事に開催され、国民
にそして世界に希望
と将来性を与えるよ
うな素晴らしい大会
にしたいと考えます。

コロナ禍により観
光関係は皆

さんご存知の通り大きな被害を被っています。GOTOトラベル事業により、個人旅行はある程度活気を戻しましたが、多くの人数で移動する団体旅行などは難しい状況が続いています。換気や消毒などの対策は十分に行っていますが、これほどまでに感染者が増えてしまっている現状では旅行どころではありません。私の旅行会社でも昨年、今年と、ほぼ団体の旅行がありません。昨年の安善寺様の奈良の旅行も延期の予定となっていました。

例年、曹洞宗の大本山である永平寺様と總持寺様にお寺様とお客様と一緒に修行体験として泊まる機会が多いのですが、それが昨年は一度もありませんでした。御本山での坐禅や法話、精進料理、朝のお勤めはとても貴重な体験です。特に本堂にて多くの僧侶がお経をお唱えする朝のお勤めは本当に迫力があります。

緊急事態宣言もこの新聞が発行されるころには解除されていることを願うばかりです。そして明るい道が見えてくるのなら、被害があつた業種をはじめ、オリンピック開催により経済が大きく進展し、皆が安心して生活できる日常が戻るのではないのでしょうか。明日は今日よりも良い日でありますように。

（飯泉 隆史）